

2020年度 年間事業計画

社会福祉法人 ルピナス

1 所在地

福岡県福岡市東区松香台1丁目21番25号

2 実施事業

第二種社会福祉事業

1 保育所の経営

・キッズ・キッズ松香台保育園（利用定員60名）

所在地 福岡県福岡市東区松香台1丁目21番25号

2 小規模保育園の経営

・キッズ・キッズ折尾保育園（利用定員19名）

所在地 福岡県北九州市八幡西区4丁目8番10号

折尾クロスステージ1F

3 法人事業の経営理念

質の高い福祉サービスを提供し続けていく

グローバルな視点を持ち社会に貢献する

子どもたちにとって・保護者にとって・保育士にとってより良い環境を作る

4 経営方針

（1）経営基盤の強化

社会福祉事業や公益的な事業への自主的な取組について、責任を持って実施できる管理経営体制を構築する。

（2）福祉サービスの質の向上

職員が専門的知識や技術を修得できるように法人内・外部での研修等を推進する。

（3）事業経営の透明性の確保

法人内で実施されているサービス内容や経営内容などの情報についての透明性の確保に努める。

法人本部

1. 評議員選任・解任委員会の開催

- (1) 評議員選任・解任委員会（必要に応じて随時開催）

2. 構成

- (1) 評議員選任・解任委員 4 名（監事 2 名、事務局員 1 名、外部委員 1 名）

3. 評議員会の開催

- (1) 第 1 回評議員会（6 月）
 - ① 前年度事業報告及び決算報告の審議、その他
- (2) 臨時評議員会（必要に応じて随時開催）

4. 構成

- (1) 評議員 7 名

5. 理事会の開催

- (1) 第 1 回理事会（6 月）
 - ① 前年度事業報告及び決算報告の審議、理事長職報告、その他
- (2) 第 2 回理事会（11 月）
 - ① 補正予算審議、指導監査実施報告、その他
- (3) 第 3 回理事会（3 月）
 - ① 次年度事業計画及び当初予算の審議、理事長職務報告、その他
- (4) 臨時理事会（必要に応じて随時開催）

6. 構成

- (1) 理事 6 名（理事長含む）
- (2) 監事 2 名

7. 施設横断会議の開催

- (1) 定例園長会（隔月）

2020 年度は、昨年取り組んだ法人内研修で、保育士としての意識も高まり新規に立ち上げられた法人への理解につながっていると考えられる。

また、福岡市で行われる研修・キャリアパス研修の受講を通して職員の意識向上、保育に向かう考え方の向上ができたと考えられる。

今年度は、昨年度の研修を生かし更なるステップアップを行う事ができるように考えていく。

【2021年度重点的な取り組み事項】

1. 保育内容の向上

(1) 研修の充実と環境を整える キャリアアップ研修や法人内研修に参加し、それを活かした園内研修の充実を図る。
また、専門リーダーを含め、リーダー会議を行うことで保育の細部の見直しと環境について確認を行い、職員の意識の向上と職員間の協力体制強化に取り組む。

(2) 保育の充実を図る

・環境

(物的環境) 手作り玩具・絵本等の充実を図ることは継続していく。

畑の整備を行い、食育につながる行動及び植物栽培の興味を育てる。

また、子ども の興味・関心を捉え、遊びが主体的に発展していく環境を整える。

(人的環境) 子どもへの関わりや言葉かけ(特に未満児は応答的保育)を直し再度確認を行い、保育の充実に努める。

・健康

(体力の向上) 外遊びや園外保育(プール)を通して向上を図る。

(心身の健康) 基本的生活習慣等の園での取り組みを掲示やおたより、保育参加・参観の講演会等を行い保護者に知らせ、家庭での気付きを働きかけていく。

(3) 当法人内2施設及び保育共同検討グループ13施設での研修の取り組み・処遇改善等
加算対象職員に対し、グループ内研修を年4回実施し、各担当分野の職務内容 について職員がより深い知識を持てるよう研修を実施する。

・研修会場は各施設を利用し、自園との違い等を見ることで環境や配置に関心を持ち、視野を広げさせる。

2. 円滑な園の運営と充実を図る

①年長者との交流・地域・小学校・近隣保育所との交流は継続して実施し、今年度も香椎東公民館主催の未就園児と保護者対象の子育て支援を継続していく。

②保幼小連携では、交流の他、年長児との交流も積極的に連携を深めていきたい。

3. 施設整備及び管理

園舎が建って2年となるが、保育における不足部分(安全性・利便性)を考え、園児の安全・安心を第一に考え、取り組んでいきたい。

【平均児童数／4月入所予定児童数】

定員：60名 年齢別

クラス名	たんぽぽ組 (0歳児)	すみれ組 (1歳児)	ばら組 (2歳児)	うめ組 (3歳児)	もも組 (4歳児)	さくら組 (5歳児)
児童数	5名	9名	11名	12名	12名	11名

《 職員配置 》 必要に応じて職員を雇用

クラス名・役職名	常勤職員	非常勤職員
たんぽぽ組	1名	1名
すみれ組	1名	2名
ばら組	1名	1名
うめ組	1名	
もも組	1名	1名
さくら組	2名	
フリー保育士		1名
主任保育士	1名	
栄養士	1名	
調理員		1名
事務員	1名	
施設長	1名	

【 延長保育利用状況 見込数 】

利用登録人数（年間） 36名

平均実利用者数 3名

※ 異年齢児の関わりを大切にしたい遊びを中心に、一人一人が安定して過ごせるようなゆったりとした雰囲気の中で保育を行い、子どもたちが心理的不安に陥ることのないよう遊びを工夫し保育を行う。

《 職員配置 》

保育士配置人数 2名

（ローテーション・時間外にて対応）

1. 保育理念

児童保育施設として乳幼児の最善の利益を考慮し、安全で健全な心身の発達を図り一人一人の特性に応じた人間性豊かな児童の育成を目指します。

2. 保育方針

一人ひとりの個性を大切にしたい保育

「見つめて」育てます。

一人ひとりの顔が違うように、性格や発達も違います。子どもとたくさん関わりあうこと、いつも見つめることを大切に、しっかりとお子様の成長を見守ります。

「思いやり」を育てます。

少人数による「タテ割り保育」をしています。年齢や性別の違うお友達とふれあい、小さな子のお世話をしたり、お兄さんやお姉さんと遊んだりする日常の中から、社会ルールや生活の基本を学ぶほか、人を思いやるという大切なことを学んでいきます。

「生きていく力」を育てます。

子どもたちの力は未来に向かって無限です。自分の力でたくさんの扉を開いてほしい。だからこそ、自主性・創造性・想像力・好奇心などの完成を大切に育てる保育をします。

3. 保育目標

子どもの様々な欲求を満たし、心身を健康に保つための基礎を育みます。

人に対する愛情と信頼感、人権を大切にする心を育てると共に自主、自立及び協調の態度を養い道徳性の芽生えを培います。

命や自然の事象に関心を持つ心を育てると共に、様々な体験により豊かな思考力・表現力創造力を育てます。

○ 保育内容

保育指針を基礎にして、毎月職員会議を開き、各年齢に応じた養護・教育のねらい及び内容からカリキュラムを作成し、愛情豊かな保育を進めていく。

また、職員研修では、子ども達が、保育園において安定した生活（すなわち生命の保持

及び情緒の安定）と充実した活動ができるように、研究課題を出し合い検討していく。

- ① 子どもの人権について
- ② 記録の取り方や指導計画作成について
- ③ 保護者との対応の仕方（多様化する育児への考え）
- ④ 延長保育について

○ 行事年間行事（地域交流）予定（別紙1の通り）

- ・ 園外保育、水遊びの場合、事故防止対策をあらかじめ十分に検討する。
- ・ 遠足は、知育面・体力面を考慮して目的地を選択し、そのうち1回は、親子遠足を取り入れる。（現地視察）
- ・ 生活発表会や運動会においては、個性を考慮しながらも、一人一人を大切に参加させる。

○ 安全対策

- ・ 毎月1回火災等の緊急事態を想定した避難訓練を行う。
- ・ 地震災害を想定した避難訓練も年2回実施する。
- ・ 不審者の侵入を想定した防犯訓練を年2回実施する。
- ・ 誘導その他の不法な侵害から子ども達を護るため、常に保護者と緊密に連絡をとり事故を未然に防止する対策をとる。
- ・ 送迎時における安全確保をはかる。
- ・ 与薬については、医師の出した薬のみに限る。必ず所定の用紙に記入し薬 剤情報提供書等がある場合にはそれも添付するよう指導する。
- ・ 食中毒については、常に衛生管理に気をつけ、調理員については特に食中毒予防に努めるよう指導する。

○ 地域との交流

- ・ 地域の方や民生児童委員の方々と交流活動を行う。
- ・ 高齢者ホームの入所者や地域のお年寄りを招待又は訪問し、季節的行事を通して世代間のふれあい活動を行う。
- ・ 地域の行事（敬老会・市民センター秋祭り等）に参加する。
- ・ 卒園児を含む一般児童を保育園に招き、交流を深める。
- ・ 小・中・高等学校等の生徒を対象とする一日保育士体験学習を行う。

○ 保育時間

保育標準時間 午前7：00から午後6：00まで

保育短時間 午前9：00から午後5：00まで

（保育時間を超える時間は、延長時間として対応）

○ 保育担当 担当保育士を定め、施設長は総括的指導をする。調理担当は別に定める。

○ 職員研修 ・ 全国・県・市・区関係及び、各保育士会関係の研究研修会の参加を通して園内研修を行い、相互研修を図る。

- ・ 日常の保育やカリキュラム作成時において問題点を検討し、共通理解を深める。
- ・ 保育者自身の自己研鑽を促し、資質の向上を図る。
- ・ 職員相互のコミュニケーションを図り、楽しい職場作りに努める。

4. 保育担当者（別紙2の通り）

5. 保育設備	(1) 敷地	福岡市東区松香台1-2-5	453.52	m ²
	(2) 建物	鉄筋コンクリート造2階建	460.1	m ²

6. 資金計画

通常経費は、委託費収入・補助金事業収入・受託事業収入・受入研修費収入・利用者等外給食費収入・その他の事業収入・雑収入・受取利息配当金収入 等によるものとする。

[別紙1] 【2020年度主な行事】

保育担当者（別紙2）